



●昭和初期に建てられた木造駅舎がトレードマーク。



●鉄製の改札ラッチ。かつてはここで駅員が切符に切り込みを入れていた。



●駅舎のある側は下り線。跨線橋を渡ると水戸方面に向かう上り線ホーム。



ひまわり大使
ナカマロちゃん

戦前の駅舎が残る下菅谷
駅散策でノスタルジーを楽しむ

JR水郡線の前身太田鉄道の水戸—久慈川間が開通した明治30年11月16日、下菅谷駅は、青柳、上菅谷、額田、久慈川駅とともに設置された。

現在の駅舎は戦前に建てられたもの。青い屋根がトレードマークで、白く塗られた木造駅舎は現在、無人駅となっているが、有人駅時代に活躍した鉄製の改札ラッチが今も残るなど、古き良き時代の鉄道駅を思い起こす、懐かしい雰囲気が漂っている。

長いホームなど、水郡線の途中駅としては指折りの規模を持つ。両ホームとも奥行きがあり、庭園が列車を待つ人の心を和ませる。駅舎の庇の支柱に使用されている古いレールや、ホームに残る転轍（てんてつ）機小屋の後、黒板風の駅名標など、ホームを歩いているだけでも楽しい貴重な駅。鉄道好きにも高い人気を誇っている。

Vol.93

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

しも すが や

下菅谷駅

← ごと だい なか すが や →

後台 中菅谷

●次回は1月26日 ※イラストはイメージです。
「三妻駅」を掲載予定です。

台風19号の影響により、運転を見合わせている(西金～常陸大子駅間)ため代行バスを運転いたします。(2019年12月現在)



働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp

ふるさと紀行 周辺マップ

●一の関ため池親水公園
那珂八景の一つ。冬は白鳥など多くの水鳥が羽を休め、訪れる人々を楽しませている。隣接して茅葺屋根の「曲がり屋」がある。

●鹿嶋三嶋神社
和銅年間(708～715年)の創建。祭神は鹿島神宮の武甕槌命(タケミカヅチノミコト)と、三嶋大社の大山祇命(オオヤマツミノミコト)。

●一乗院
巨大な毘沙門天像で知られる真言宗智山派のお寺。花の寺としても知られ、開運、厄除け、方位除けの仏様として靈驗あたらか。

●一乗院の毘沙門天像

●一乗院御朱印

●散策コース

●散策コース

今回は新年を間近に控えることから、那珂市の由緒ある寺社を巡るコース。まずは旧国道349号を水戸方面に向かい、鹿嶋三嶋神社へ。途中、上宿溜池では水鳥が遊ぶ姿を見られる。鹿嶋三嶋神社は鹿島神宮、三嶋大社の由緒ある神様を祭り、境内は樹齢400年を超えるご神木の「二本で一本杉」をはじめ、駒形八幡神社、稲荷神社、八坂神社などがある。神社のシンボルマークが入った独自の「御朱印帳」も人気だ。御朱印も「二本で一本杉」をイメージしたユニークなもので、御朱印帳を購入すると、特別に3つの御朱印が入る。

次は県道169号線(バードライン)を国道118号方面に向かう。那珂ICを超えてさらに進むと高さ16mの毘沙門天像が目印の一乗院がある。だるま市や骨董市、やすらぎ寄席などが有名で、気軽に訪ねることができる楽しい寺として親しまれている。境内は見どころが多く、七福神めぐりもできるなど、時間を忘れてしまう。5種類の御朱印もあるので、趣味にしている人は御朱印帳をお忘れなく。

最後は一の関ため池親水公園へ。県内有数の白鳥飛来スポットで、冬の使者を間近に見ることができる。公園には江戸時代に市内に建てられ、移築された珍しい「曲がり屋」もある。帰りは太田街道の宿場町だった名残を探しながら旧国道349号を南下しよう。